

外国語活動 学習指導案

阪南市立 桃の木台小学校
 H R T 金井 宏樹
 J T E 浅田 三千代
 A L T Estimada Rod Ryan

1 日時 平成26年 2月13日(木) 第6時限 14:40~15:25

2 場所 外国語ルーム (第2音楽室)

3 学年・組 第5学年2組 36名

4 単元名 Lesson7 What's this?

- 5 目標
- ・ある物について、積極的にそれが何かと尋ねたり答えたりしようとする。
 - ・ある物が何か尋ねたり、答えたりする表現に慣れ親しむ。
 - ・日本語と英語の共通点や相違点から、言葉の面白さに気付く。

6 単元について

本学級の児童は、ALTやJTEと一緒に学習する中で、音声を中心に外国語活動に慣れ親しみ、言語や文化について体験的な理解を深め楽しみながら集団でコミュニケーションを図ろうとしている。しかし、様々な活動において1対1での会話では、自信を持って声を出すことができない児童も少なくない。

そこで、本単元では、What's this?を自然な形で使う場面としてシルエットクイズやポイントィングゲーム、スリーヒントクイズなどの活動を取り入れ、子どもたちに定着を図りたいと考えた。シルエットクイズやポイントィングゲームでは、視覚などの情報をヒントにすることで積極的に取り組めると考えた。

また、「海月」や「海星」などの二字熟語を取り上げ、これらは、何を表しているかを考えるクイズをすることで児童の関心を高め、外国の言語のみならず、日本語の豊かさやよさに気づかせるとともに我が国の言語文化についても理解を深めさせていきたい。

本時では、スリーヒントゲームを使って、自分の宝物について紹介するヒントを考えることにした。既習の学習内容を取り入れて考えさせたい。また、グループで練習し合うことを通して、コミュニケーションをとる楽しさを体験し、言葉ではっきり伝えることの大切さを学ばせたい。

7 指導計画 (全5時間)

時	児童の活動	評価の観点
1	部分カードをみてそれが何か答える。	絵カードを見て、それが何か尋ねたり答えたりすることに興味をもつことができる。
2	絵を見て聞き取ったものを指し示す。	ポイントィングゲームを通して、それが何か尋ねたり答えたりすることができる。
3	日本語と英語の共通点や相違点について知り、言葉の面白さに気づく。	漢字の読み方を考える活動を通して、日本語と英語の共通点や相違点から、言葉の面白さに気付くことができる。
4 (本時)	「私の宝物はなんでしょう」についての文を考え、話す練習をする。	自分の宝物のヒントの文を作ることができる。
5	「私の宝物はなんでしょう」をして交流する。	自分の宝物のクイズを出す活動に楽しんで取り組むことができる。

8 本時の学習 (4/5)

本時の目標 「私の宝物はなんでしょう」についてのヒントを工夫して考え、楽しみながら交流する。

児童の活動	HRTの活動と支援	ALT、JTEの活動
1 あいさつをする。 I'm fine. I'm thirsty. I'm hungry.	・ 児童と一緒に元気にあいさつすることで英語活動を始める雰囲気高める。	・ 児童とあいさつをする。 How are you?
2 読み聞かせを聞く。		・ 児童に絵本を読み聞かせる。
3 歌を歌う。	・ 児童と一緒に楽しみながら歌を歌う。	"What's this?" ・ 歌を歌うことで既習の学習を振り返る。
4 本時のめあてを知る。	・ 本時のめあてを掲示し、活動の見通しを持てるようにする。	

スリーヒントクイズを考えよう。My Treasure

5 ALT、JTE、HRTの宝物のクイズを聞く。	・ 自分の宝物について、簡単な言葉を使って説明する。	・ 自分の宝物について、簡単な言葉を使って説明する。
6 自分の宝物について、日記をもとにヒントを考える。グループで協力して英語にして、ワークシートに書く。	・ ワークシートを使い、It's aから始まるヒントを作るように伝える。 ・ 児童のようすを見て、励ましたり頑張りを認めたりしながら活動を進める。	・ 個々の考えてくる問題に合わせたヒントの出し方を考え、アドバイスをする。
7 グループでクイズを出し合い、ヒントの出し方に慣れる。		・ 子どもたちの出しているヒントに間違いがないか聞きながら確認する。
8 今日の学習を振り返る。	・ 自分の宝物のクイズを作ることができたか確認し、次時にクイズを行うことを伝え、意欲を高める。	
9 あいさつをする。	・ 児童と一緒にALTにあいさつをする。	・ 児童とあいさつをする。